

〈調査報告〉

関西女子短期大学卒業生の進路・
キャリア形成と短大評価

——卒業生の学習・仕事・生活に関する調査報告書 (1) ——

鍵 岡 正 俊*・大 岡 知 子*・高 木 信 良**
堀 初 子**・森 川 英 子**

The occupations and the careers of the graduates of
Kansai Women's College and their evaluation of the junior college education

——A report of investigation on the education program,
the work and their way of life of the graduates——

Masatoshi Kagioka, Noriko Ooka, Nobuyoshi Takagi,
Hatsuko Hori and Hideko Morikawa

I はじめに

関西女子短期大学の将来の発展は、社会の要請や期待を如何に的確に把握するか、そして、それを今後の教育・研究活動にどう反映させていくにかかっている。そこで、社会の各分野で活躍する卒業生の多様な実態を調査、把握することによって、本学教育の中期的な成果を確認し、また本学の魅力を知る卒業生の母校への思いを掬い上げしつつ、短期大学教育の意義と今後の発展の方向性を明確にすることを目的としてアンケート調査を実施した。

2005年に実施された短大基準協会による第三者評価では、「教育目標の達成度と教育の効果」の評価領域において、「学生の卒業後評価への取り組みの努力」の必要性が指摘されている。各学科・コース単位の調査は、過去にその例があるが、短期大学としての全学的な取り組

みは初めての試みとなる。2012年の第三者評価を視野に入れつつ、本学の将来計画の基礎資料としたい。

なお、報告は数回に分けて行う予定であり、第1回に当たる本稿では、調査の単純集計を中心に報告する。

II 調査の概要

1. 調査の目的

本学の教育の成果を点検・評価し、今後の発展の方向性を明確にすることを目的とする。

2. 調査実施時期

平成19年3月～4月

3. 調査の項目

『「短大卒業生の進路・キャリア形成と短大評価」調査研究報告書』（2005年2月 短期大学

*関西女子短期大学 准教授

**関西女子短期大学 教授

基準協会) の調査項目を参考に、本学教育の点検・評価、向上・充実に関する、以下の項目を設定し、全 14 ページの調査票を作成した。

- ① 本学入学と学生生活、本学の教育内容に対する評価
- ② 職業への移行の実態
- ③ 進学と学業継続傾向
- ④ 生涯教育への参加とそのニーズ
- ⑤ 私的生活領域における行動や意識価値観
- ⑥ 短大の効用についての評価
- ⑦ 関西女子短期大学に対する総合評価

4. 調査の対象と方法

卒業後 1 年目 (平成 18 年 3 月卒)、3 年目 (平成 16 年 3 月卒)、7 年目 (平成 12 年 3 月卒) の本学全学科卒業生を対象として、調査票 (参考資料) を郵送し、4 月末日締め切りで回収した (表 1~3)。

調査の分析に際しては、「秀吉 Dplus ver.

2005」を用いた。

Ⅲ 結果

単純集計の全結果については、別途報告するものとし、ここでは特に注目される以下の項目について報告する。

1. 対象者自身の特性

(1) 仕事と結婚・出産に対する考え方 (質問項目 A7) 表 4

「結婚や出産時に仕事をやめるが、子どもが一定年齢になったら再び仕事に就く」が 59.8% を占め、「結婚や出産にかかわらず仕事を続ける」の 29.0% を大きく上回っており、人生の一時期に主婦化する傾向が強い。

(2) 人生においてもっとも重視していること (質問項目 A8) 表 5

「仕事での成功 3.1%」や「豊かな経済力 5.8%」ではなく、「家族や身近な人との生活

表 1 送付数 (名)

		保育	歯科	養護	医療	食品・栄養	合計
卒業後年数	卒業後 1 年目 (平成 18 年卒)	129	116	76	47	—	368
	卒業後 3 年目 (平成 16 年卒)	146	111	75	64	31	427
	卒業後 7 年目 (平成 12 年卒)	144	94	92	114	18	462
	合計	419	321	243	225	49	1257

表 2 回収数 (名)

		保育	歯科	養護	医療	食品・栄養	合計
卒業後年数	卒業後 1 年目 (平成 18 年卒)	17	22	19	5	—	63
	卒業後 3 年目 (平成 16 年卒)	24	27	20	17	3	91
	卒業後 7 年目 (平成 12 年卒)	28	12	30	32	4	106
	合計	69	61	69	54	7	260

表 3 回収率 (%)

		保育	歯科	養護	医療	食品・栄養	全体
卒業後年数	卒業後 1 年目 (平成 18 年卒)	13.1	18.9	25	10.6	—	17.1
	卒業後 3 年目 (平成 16 年卒)	16.4	24.3	28	26.5	9.6	21.5
	卒業後 7 年目 (平成 12 年卒)	19.4	12.7	32.6	28	22.2	22.9
	全体	16.4	19	28.8	24	14.2	20.7

表4 仕事と結婚・出産に対する考え方

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不明)%
1	結婚しないで仕事を続ける	5	1.9	1.9
2	結婚や出産にかかわらず仕事を続ける	75	28.8	29
3	結婚や出産時に仕事をやめる	23	8.8	8.9
4	結婚や出産時に仕事をやめるが、子供が一定年齢になったら再び仕事に就く	155	59.6	59.8
5	仕事に就かないで結婚する	1	0.4	0.4
6	仕事に就かないで結婚し、子供が一定年齢になったら仕事に就く	0	0	0
	不明	1	0.4	
	サンプル数 (%ベース)	260	100.0	259

表5 人生において最も重視していること

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不明)%
1	仕事での成功	8	3.1	3.1
2	豊かな経済力	15	5.8	5.8
3	家族や身近な人との生活	106	40.8	40.8
4	社会や他人への奉仕	3	1.2	1.2
5	趣味やスポーツ活動	8	3.1	3.1
6	楽しい毎日の生活	109	41.9	41.9
7	その他	11	4.2	4.2
	不明	0	0	
	サンプル数 (%ベース)	260	100.0	260

表6 本学選択理由

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不明)%
1	本学が学びたい分野であったから	210	80.8	81.1
2	就職に有利だと思ったから	87	33.5	33.6
3	大学への編入学制度があったから	1	0.4	0.4
4	校風や建学の精神が好きだから	3	1.2	1.2
5	キャンパスや環境が良かったから	9	3.5	3.5
6	自宅(親元)から通える距離だから	33	12.7	12.7
7	親(家族)に勧められたから	16	6.2	6.2
8	高校の先生に勧められたから	29	11.2	11.2
9	友達に勧められたから	2	0.8	0.8
10	自分の学力にあったから	12	4.6	4.6
11	経済的な理由から	0	0.0	0.0
12	高卒での就職がなかったから	0	0.0	0.0
13	希望した学校に進学できなかった	16	6.2	6.2
14	その他	16	6.2	6.2
	不明	1	0.4	
	サンプル数 (%ベース)	260	100.0	259

40.8%」と「楽しい毎日の生活 41.9%」が大半を占める。生活エンジョイ型で個人生活を重視する者が圧倒的である。

2. 入学および在学中の事項

(1) 本学選択理由 (質問項目 C2) 表 6

「学びたい分野であった 81.1%」、「就職に有利だと思った 33.6%」など積極的理由が高

い割合を示す一方、「親に勧められたから 6.2%」、「希望した学校に進学できなかった 6.2%」など不本意入学をしめす消極的理由は低い割合を示した。また「大学への編入制度があったから」は 0.4% と低く、この時点での編入制度の学生募集への貢献は低いと考えられる。

(2) 短期大学以外への進学検討 (質問項目 C2-B) 表 7

進学検討した学校の種類 (質問項目 C2-B1) 表 8

「短期大学以外への進学を検討した」のは 51.5% で、その主たる対象は四年制大学 57.6% と専門学校・各種学校 57.6% であった。学生募集において、短期大学が四年制大学、専門学校の双方と競合していることを改めて確認する結果となった。

(3) 本学において重視されていた学習内容 (質問項目 C8) 表 9

「非常に重視されていた」「まあ重視されていた」とする肯定的評価の割合が高い項目は、「専攻分野の理論や概念の学習 96.1%」、「現実の課題に即した学習 94.1%」であった。これに対して肯定的評価の低い項目は、「専攻学科以外の科目の学習 35.1%」、「授業外で教員とコミュニケーションをもつこと 47.4%」など

表 7 短期大学以外への進学検討

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不明)%
1	考えなかった	126	48.5	48.5
2	考えた	134	51.5	51.5
	サンプル数 (%ベース)	260	100.0	260

表 8 進学検討した学校の種類

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不明)%
1	六年制大学	0	0	0
2	四年制大学	76	56.7	57.6
3	専門学校・各種学校	76	56.7	57.6
4	職業訓練短大など	2	1.5	1.5
	不明	2	1.5	
	サンプル数 (%ベース)	134	100	132

表 9 本学において重視されていた学習内容

カテゴリ	N	非常に重視されていた (%)	まあ重視されていた (%)	あまり重視されていなかった (%)	まったく重視されていなかった (%)
a. 専攻分野の理論や概念の学習 (講義での学習)	254	43.3	52.8	3.5	0.4
b. 現実の課題に即した学習 (実習・演習等での学習)	254	45.7	48.4	5.5	0.4
c. 授業への出席	253	48.2	43.9	7.5	0.4
d. コミュニケーション能力の習得 (グループワークなど)	254	12.2	55.1	30.3	2.4
e. 学生の教員への質問	253	8.7	49.0	38.7	3.6
f. 学習達成度のチェックと評価 (定期試験や小テスト)	253	19.8	57.3	20.6	2.4
g. 卒業論文・卒業研究の作成	254	13.8	51.6	30.7	3.9
h. 在学中の就業体験 (実習やインターンシップ)	253	33.6	38.3	20.6	7.5
i. 授業外で教員とコミュニケーションをもつこと	253	8.7	38.7	43.5	9.1
j. 専攻学科以外の科目の学習	254	2.8	32.3	51.2	13.8
k. 自習学習	254	4.7	29.9	52.8	12.6

であった。専門教育、職業教育に重点をおく本学教育課程の特質を表す反面、教養教育に課題を見る結果となった。

3. 卒業後の進路

(1) 最初の就職先を現在も続けている（質問項目 D4）表 10

「続けている」が 53.4%（講師を続けている場合は、勤務校が変更しても「続けている」に含めた）、「退職した」が 46.6% という結果を得た。

この項目を、卒業年別に比較すると、「続けている」の割合は、卒後 1 年目では 78.3%、卒後 3 年目では 62.7% で、卒後 7 年目では 31.3% と急落することがわかった。

表 10 最初の就職先を現在も続けている

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不明)%
1	続けている	109	50.0	53.4
2	退職した	95	43.6	46.6
	不明	14	6.4	
	サンプル数 (%ベース)	218	100.0	204

4. 現在の仕事

(1) 現在の仕事（質問項目 E1）表 11

正規就業（正規職員、自営業）56.4%、非正規就業（アルバイト、講師、契約社員、家業の手伝い）28.6%、就学（大学・大学院）0.8%、家事・子育て 10.8%、求職中 2.7%、その他 0.8%、という結果を得た。対象者の現在の状況は、正規就業が半数を超える一方で 3 割近くが非正規就業である。ただし、非正規就業の約 3 分の 1 は養護助教諭・講師であり、正規就業予備軍と考えられる。

5. 短大教育と仕事との関係

(1) 在学中に獲得した知識や技能を使う頻度（質問項目 F1）表 12

「頻繁に使っている 52.8%」、「ときどき使っている 31.3%」の肯定的評価が「あまり使っていない」、「まったく使っていない」の否定的評価の合計 15.9% を大きく上回る。

本学教育の有用性を示す数字の一つであると考えられる。

表 11 現在の仕事

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不明)%
1	正規の職員として勤務	145	55.8	56.0
2	アルバイト・パートタイム	33	12.7	12.7
6	家事・子育て	28	10.8	10.8
11	養護助教諭・講師	25	9.6	9.7
3	契約社員・派遣社員	15	5.8	5.8
8	無職で仕事を探している	7	2.7	2.7
10	大学・大学院に在学	2	0.8	0.8
12	その他	2	0.8	0.8
4	自営業	1	0.4	0.4
5	家業の手伝い	1	0.4	0.4
7	無職で職業訓練を受けている	0	0.0	0.0
9	短大専攻科に在学	0	0.0	0.0
	不明	1	0.4	
	サンプル数 (%ベース)	260	100.0	259

表 12 在学中に獲得した知識や技能

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不明)%
1	頻繁に使っている	113	50.9	52.8
2	ときどき使っている	67	30.2	31.3
3	あまり使っていない	18	8.1	8.4
4	まったく使っていない	16	7.2	7.5
	不明	8	3.6	
	サンプル数 (%ベース)	222	100.0	214

表 13 今の職場で必要とされる知識・能力・技能

カテゴリ	N	非常に必要とされている(%)	必要とされている(%)	あまり必要とされていない(%)	まったく必要とされていない(%)
a. 幅広い知識	210	46.7	42.4	9.0	1.9
b. 専門的な知識や技能	210	60.5	26.2	8.1	5.2
c. 外国語の能力	209	2.9	10.0	37.3	49.8
d. コンピューターを使いこなす技能	208	34.1	35.6	14.4	15.9
e. 問題解決力	210	37.1	51.0	9.5	2.4
f. 一人で仕事をこなせる力	211	49.3	45.5	4.3	0.9
g. チームの中で仕事を遂行する能力	211	56.4	38.9	4.3	0.5
h. 仕事への適応能力	211	60.7	35.5	2.4	1.4
i. 創造性	211	30.8	41.7	23.2	4.3
j. 自発性、自主性	211	43.6	45.0	10.4	0.9
k. 話し言葉によるコミュニケーション	211	64.5	31.8	3.3	0.5
l. リーダーシップを発揮できる力量	211	26.1	42.2	28.9	2.8
m. 人との交渉能力、折衝能力	210	48.6	40	10	1.4
n. 礼儀、マナー	211	67.3	31.3	0.9	0.5

(2) 今の職場で必要とされる知識・能力・技能 (質問項目 F2-B) 表 13

「頻繁に使っている」、「ときどき使っている」の肯定的評価が最も高い項目は、「礼儀・マナー 98.6%」で、続いて「話し言葉によるコミュニケーション 96.3%」、「仕事への適応能力 96.2%」であった。反対に肯定的評価が低い項目は「外国語の能力 12.9%」であった。

6. 仕事への態度、職業上の満足

(1) 現在の仕事の満足度 (質問項目 G1) 表 14
全体の肯定的評価は 68.4% と高い満足度を

示した。これを卒業年度別に比較すると、卒後 1 年目 61.4%、卒後 3 年目 66.3%、卒後 7 年目 76.4% と年長コーホートは若いコーホートよりも満足度が高い傾向にある。また、学科コース別の比較では、保育 74.6%、養護 73.3% が、歯科 64.9%、医療 58.5% と比較して高い割合になっている。

7. 卒業後の学習経験や生涯学習

(1) 卒業後の教育・訓練の必要性 (質問項目 H2) 表 15

「将来の仕事に必要なことを学ぶこと 89.5%」「教養をみにつけること 88.0%」、「専攻

表 14 現在の仕事の満足度

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不明)%
1	とても満足している	38	17.1	18.4
2	まあ満足している	103	46.4	50
3	あまり満足していない	58	26.1	28.2
4	まったく満足していない	7	3.2	3.4
	不明	16	7.2	
	サンプル数 (%ベース)	222	100.0	206

表 15 卒業後の教育・訓練の必要性

カテゴリ	N	非常に そう思う (%)	まあそう 思う (%)	あまりそう 思わない (%)	まったく 思わない (%)
a. 専攻分野についてさらに学ぶこと	190	54.2	31.6	12.1	2.1
b. 別の分野について学ぶこと	190	20.0	52.1	24.7	3.2
c. 教養を身につけること	191	37.7	50.3	9.9	2.1
d. 将来の仕事に必要なことを学ぶこと	191	50.8	38.7	9.4	1.0
e. 学士（大学卒）や修士の学位を取得すること	191	6.3	17.3	48.2	28.3
f. 他の資格を取得すること	191	30.9	46.6	17.3	5.2

表 16 リカレント教育の希望

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不明)%
1	希望する	33	12.7	15.7
2	関心はあるが、行くかどうかはわからない	128	49.2	61.0
3	行きたいとは思わない	9	3.5	4.3
4	考えたことがない	40	15.4	19.0
	不明	50	19.2	
	サンプル数 (%ベース)	260	100.0	210

分野についてさらに学ぶこと 85.8%」など、どの項目も高い肯定的評価を示し、その必要性を強く感じている。ただし、「学士や修士の学位を取得すること 23.6%」に対する関心は低い傾向にある。

(2) リカレント教育の希望（質問項目 H3）表 16

「希望する 15.7%」、「関心があるが、行くかどうかわからない 61.0%」という結果は、必要性を感じながらも学習内容や学習形態が参加の有無を大きく左右することがうかがえる。

(3) 希望するリカレント教育の学習形態（質問項目 H4）表 17

「資格取得のための集中的な講座 55.0%」、「休日等の公開講座 36.8%」が高い値を示している。

(4) 希望するリカレント教育の学習内容（質問項目 H5）表 18

「職業に関する学習 73.1%」が断然に高い値を示している。

表 17 希望するリカレント教育の学習形態

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不明)%
1	休日等の公開講座	77	29.6	36.8
2	資格取得のための集中的な講座	115	44.2	55.0
3	科目等履修生や聴講生	8	3.1	3.8
4	正規学生	7	2.7	3.3
5	その他	4	1.5	1.9
6	特に関心がない	20	7.7	9.6
	不明	51	19.6	
	サンプル数 (%ベース)	260	100.0	209

表 18 希望するリカレント教育の学習内容

No	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不明)%
1	職業に関する学習	163	62.7	73.1
2	家庭・日常生活に関する学習	20	7.7	9.0
3	教養に関する学習	43	16.5	19.3
4	芸術・芸能・趣味に関する学習	11	4.2	4.9
5	スポーツに関する学習	3	1.2	1.3
6	その他	1	0.4	0.4
7	特に関心がない	12	4.6	5.4
	不明	37	14.2	
	サンプル数 (%ベース)	260	100.0	223

表 19 本学で学んだことがどの程度役立っているか

カテゴリ	N	とても役立っている (%)	まあ役立っている (%)	あまり役立っていない (%)	全く役立っていない (%)
a. 満足のいく仕事を見つける上で	253	33.6	48.6	14.6	3.2
b. 長期的なキャリアを展望する上で	252	24.2	54.0	18.3	3.6
c. 充実した家庭生活を送る上で	254	17.7	56.3	23.6	2.4
d. 人格形成の上で	253	27.3	54.2	15.4	3.2

8. 短大の学習経験の総括

(1) 本学で学んだことはどの程度役立っているか (質問項目 I1) 表 19

全ての項目で高い肯定的評価を得た。すなわち、「満足のいく仕事を見つける上で 82.2%」、「長期的なキャリアを展望する上で 78.2%」、「充実した家庭生活を送る上で 74.0%」、「人格形成の上で 81.5%」である。

IV 考察および今後の方針

調査結果に対する詳細な分析は、次回以降の報告にゆずりたい。ここでは今後の分析の指標の一つとして、「短大教育の成果」について若干の分析を試みる。

1. 短大教育の成果

(1) 短大教育の有用性評価

本学教育の成果を総合的に評価・検討するために、短大教育の有用性に関する質問項目「I1 本学で学んだことはどの程度役立っていますか」の中の4項目をとりあげた。

卒業生全体の評価では、「とても役に立っている」、「まあ役に立っている」の肯定的評価を示したものが、「満足いく仕事を見つける上で 82.2%」、「人格形成の上で 81.5%」、「長期的なキャリアを展望する上で 78.2%」、「充実した家庭生活を送る上で 74.0%」という結果を得た。短大基準協会による調査では「人格形成の上で」が最上位、「長期的なキャリアを展望する上で」が最下位を占めており、本学の卒業生が職業生活のための効用をより高く評価していることを示している。

学科コース別では、「満足いく仕事を見つける上で」の肯定的評価は、「保育 85.1%」、「歯科 91.8%」、「養護 84.0%」、「医療 70.0%」。また、「長期的なキャリアを展望する上で」の肯定的評価は、「保育 84.9%」、「歯科 91.8%」、「養護 79.4%」、「医療 54.0%」という結果を得た。

卒業年度別では、「満足いく仕事を見つける上で」の肯定的評価は、「卒業1年目 87.3%」、「卒業3年目 82.5%」、「卒業7年目 78.8%」と卒業、年を経るごとに低下し、「長期的キャリアを展望する上で」では、「卒業1年目 82.5%」、「卒業3年目 84.2%」、「卒業7年目 70.0%」と卒業7年目の落ち込みが大きい。

(2) もし、今18歳で高卒後の進路選択ができるとしたら

質問項目I2の「もし、今18歳で高卒後の進路選択ができるとしたら」から、卒業生の短大教育に対する満足度を検討した。

卒業生全体をみると、肯定的評価は「短大に行く 78.0%」がもっとも高く、「四年制大学に行く 64.0%」がこれにつづく。「専門学校

選択 38.2%」や「進学しない 5.5%」は短大や四年制大学進学と比べて、選択の可能性が低いことがわかる。

学科コース別にみると、保育では「短大に行く 86.1%」、「四年制大学に行く 45.0%」、歯科では「短大に行く 79.2%」、「四年制大学に行く 64.8%」と短大進学が四年制大学進学を上回っているが、養護では「短大に行く 81.4%」、「四年制大学に行く 80.6%」と両者が伯仲し、医療秘書では「短大に行く 64.4%」、「四年制大学に行く 70.6%」と順位が逆転している。

卒業年度別にみると、卒業1年目では「短大に行く 70.2%」、「四年制大学に行く 63.2%」、卒業3年目では「短大に行く 70.7%」、「四年制大学に行く 62.4%」と短大進学が優位であるが、卒業7年目では逆転し、「短大に行く 56.7%」に対して「四年制大学に行く 66.0%」と四年制大学が優位に立つ。

卒業生全体としてみた場合、短期大学教育に対する評価は高いが、短大を選ぶ可能性は、学科コースによってバラツキがあり、また時系列でみると卒業7年目に急減する。

2. 今後の分析方針

前述の短期大学基準協会による「短大卒業生の進路・キャリア形成と短大評価」調査研究報告書の研究結果と比較しつつ、以下の側面から、本学教育の特質を点検し、今後の発展の方向性を探る。

(1) 短大教育の成果とライフコース、(2) 職業的能力と短大知識の活用、(3) 職業観と職業生活における満足度、(4) 職業キャリアとリカレント教育の可能性、(5) 入学生のプロフィール、(6) 短大における学生生活と活動、(7) 短大在学中の生活時間、(8) 短大における教育内容と勉学条件、(9) 卒業後の進学キャリア、(10) 卒業後の職業キャリア

謝辞

調査にご協力頂いた卒業生の皆様、調査票の発送にご尽力いただいた同窓会の皆様に心から感謝申し上げます。なお、本報告は、平成 18 年度関西女子短期大学奨励研究として後援会からの研究費の助成を受けたものであります。ここに深く感謝

申し上げます。

参考文献

- 1) 短期大学基準協会「短大卒業生の進路・キャリア形成と短大評価」調査研究報告書 2005 年 2 月

〈参考資料〉

A. あなた自身についてうかがいます。

- A 1 本学卒業年についてお答えください。
 1. 平成 12 年 (2000 年) 3 月
 2. 平成 16 年 (2004 年) 3 月
 3. 平成 18 年 (2006 年) 3 月
- A 2 卒業学科・コースについてお答えください。
 1. 保育科
 2. 保健科歯科衛生士コース
 3. 保健科養護・保健コース
 4. 保健科医療秘書コース
 5. 保健科食品・栄養科学コース
 6. 福祉栄養学科
- A 3 生年 [西暦_____] 年
- A 4 あなたは、配偶者がいますか。
 1. いいえ 2. はい
- A 5 お子さんはいらっしゃいますか。
 1. いない
 2. いる → お子さんは何人いらっしゃいますか：[_____] 人
- A 6 現在お住まいの場所 (都道府県) をご記入ください。[_____] 都道府県
- A 7 次の生き方の中から、あなたの考えに最も近いものに○をつけてください。
 1. 結婚しないで仕事を続ける
 2. 結婚や出産にかかわらず仕事を続ける
 3. 結婚や出産時に仕事をやめる
 4. 結婚や出産時に仕事をやめるが、子供が一定年齢になったら再び仕事に就く
 5. 仕事に就かないで結婚する
 6. 仕事に就かないで結婚し、子供が一定年齢になったら仕事に就く
- A 8 あなたが人生において最も重視していることは何ですか。
 1. 仕事での成功
 2. 豊かな経済力
 3. 家族や身近な人との生活
 4. 社会や他人への奉仕
 5. 趣味やスポーツ活動
 6. 楽しい毎日の生活
 7. その他 [具体的に：_____]

B. 本学に入学する以前の経験についてうかがいます。

- B 1 あなたはいつ高校を卒業しましたか、あるいは大学入学資格を取得しましたか。
 (A) 高校卒業あるいは進学資格取得の方法
 1. 高校全日制 (普通科) を卒業した
 2. 高校全日制 (普通科以外) を卒業した
 3. 高校定時制または通信制を卒業した
 4. 大学検定で資格を得た
 5. 外国の高校等を卒業した
 6. その他 [具体的に：_____]
- (B) その卒業・資格取得の時期 [西暦_____] 年 (平成 [_____] 年)
- B 2 あなたはその後、本学に入学するまでの間に、どのようなことを経験しましたか。次の中からあてはまるものにいくつでも○をつけて下さい。
 1. 大学受験のための予備校等 (通信制も含む) に在学した
 2. 職業訓練のための学校 (専門学校を除く) に在学した
 3. 高等教育機関 (大学、短大、高専、専門学校) に在学した
 4. 就職して働いた、あるいは自営で働いた

5. アルバイトをした
6. 職探しをした（失業を経験した人を含む）
7. 子育てや家事に専念した
8. その他（ボランティアなど具体的に）[具体的に：_____]
9. どれも経験していない

[前問で3に○をつけた人にうかがいます]

本学入学前に在学した学校について、在学した時期や学校名を下表にご記入ください。

*科目等履修生なども含みます

*『(D) 学科・専攻名』の欄には『(B) 学校名』より下の部分（学部〈研究科、専攻科〉、学科、専攻など）を具体的に記入して下さい。

*途中で転学したり学科・専攻を変えた場合は、それぞれ別の欄に記入してください。

*回答欄が足りないときは、用紙を追加して調査票に添付してください。

	(A) 期間	(B) 学校名	(C) 学校区分	(D) 学科・専攻名	(E) 卒業区分
①	[西暦]年 []月 ～ [西暦]年 []月		1. 専門学校・各種学校 2. 短期大学 3. 大学 4. 大学院 5. その他		1. 卒業（修了） 2. 中退・退学 3. 学習修了 （科目履修など）
②	[西暦]年 []月 ～ [西暦]年 []月		1. 専門学校・各種学校 2. 短期大学 3. 大学 4. 大学院 5. その他		1. 卒業（修了） 2. 中退・退学 3. 学習修了 （科目履修など）

C. 本学に入学してから在学中までのことについてうかがいます。

C1 本学に入学したのはいつですか。[西暦_____]年 [_____]月

C2 本学への進路選択した理由についてうかがいます。

(A) 本学へ進学した理由について、次の中から主なものを2つまで○をつけてください。

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 本学が学びたい分野であったから | 8. 高校の先生に勧められたから |
| 2. 就職に有利だと思ったから | 9. 友達に勧められたから |
| 3. 大学への編入学制度があったから | 10. 自分の学力にあったから |
| 4. 校風や建学の精神が好きだから | 11. 経済的な理由から |
| 5. キャンパスや環境が良かったから | 12. 高卒での就職がなかったから |
| 6. 自宅（親元）から通える距離だから | 13. 希望した学校に進学できなかったから |
| 7. 親（家族）に勧められたから | 14. その他 [具体的に：_____] |

(B) 本学への進路選択のとき、「短期大学」以外の学校への進学を考えたことがありましたか。

1. 考えなかった
2. 考えた

(B)-1 どんな種類の学校ですか
(あてはまるものいくつかでも○)

1. 六年制大学
2. 四年制大学
3. 専門学校・各種学校
4. 職業訓練短大など
5. その他 [具体的に：_____]

(B)-2 それらの学校よりも短期大学を選んだ決め手
となった理由はなんですか（ひとつだけに○）

1. 就職に有利だと思ったから
2. 四年制大学より早く社会に出られるから
3. 専門学校より教養を身につけることができるから
4. 大学への編入学の制度もあったから
5. 他の学校は自宅（親元）から通えないから
6. 経済的な理由から
7. 希望した大学に進学できなかったから
8. その他 [具体的に：_____]

- C3 あなたが在学中に一番力を注いでいた活動は何ですか。
- | | |
|-------------|----------------------|
| 1. 授業関係の勉強 | 5. アルバイト |
| 2. 授業以外の勉強 | 6. 趣味 |
| 3. サークル・クラブ | 7. その他 [具体的に: _____] |
| 4. 友達との交際 | 8. 特にない |
- C4 短期大学在学中、あなたは次のことをどのぐらいしていましたか。
- (A) 授業期間中
- | | |
|--------------------------------------|--------------|
| a. 授業への出席 一日平均 [____] 時間程度 (1時間=60分) | |
| b. その他の学習活動 (家や図書館での学習を含む: 1日平均) | |
| 1. ほとんどしない | 4. 1時間~2時間未満 |
| 2. 30分未満 | 5. 2時間~3時間未満 |
| 3. 30分~1時間未満 | 6. 3時間以上 |
| c. 課外活動 (クラブ・サークル、スポーツ、ボランティア、自治会など) | |
| 週に (____) 回 1回 (____) 時間程度 | |
| d. アルバイト (インターンシップや教育委員会の学生サポーターを除く) | |
| 週に [____] 回 1回 [____] 時間程度 | |
- (B) 長期休暇中
- | | |
|--------------------------------------|--------------|
| a. 学習活動 (家や図書館での学習を含む: 1日平均) | |
| 1. ほとんどしない | 4. 1時間~2時間未満 |
| 2. 30分未満 | 5. 2時間~3時間未満 |
| 3. 30分~1時間未満 | 6. 3時間以上 |
| b. 課外活動 (クラブ・サークル、スポーツ、ボランティア、自治会など) | |
| 週に (____) 回 1回 (____) 時間程度 | |
| c. アルバイト (インターンシップや教育委員会の学生サポーターを除く) | |
| 週に [____] 回 1回 [____] 時間程度 | |
- C5 あなたは本学在学中に、企業実習・インターンシップや教育委員会の学生サポーターなどの就業体験をしたことがありますか。
- | |
|---|
| 1. ない |
| 2. ある (・年 () 回くらい ・月 () 回くらい ・週 () 回くらい) |
- C6 在学中に経験した仕事 (アルバイト、インターンシップや学生サポーターなどの就業体験を含む) は、短期大学での学習内容と、どの程度関係がありましたか。
- | | | | | |
|--------------|-------------|--------------|-------------|-------------------|
| 非常に
関係がある | まあ
関係がある | あまり
関係がない | 全く
関係がない | 仕事や就業体験は
しなかった |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
- C7 あなたは本学在学中に、正規の授業・実習とは別に、何か講座を受けたり学校に通ったりしていましたか。あてはまる番号すべてに○をつけて下さい。
- | |
|---|
| 1. 学内での開催の資格講座を受けた [具体的に: _____] |
| 2. 専門学校・各種学校や学習施設・通信講座などで学習した (いわゆる「ダブルスクール」) |
| 3. 1~2 以外の講座などを受けたり学校に通ったりした [具体的に: _____] |
| 4. 特にそういうことはしていなかった |

C8 本学での学習内容や方法について、どのような面が重視されていたと思いますか。

	非常に重視されていた	まあ重視されていた	あまり重視されていなかった	まったく重視されていなかった
a. 専攻分野の理論や概念の学習（講義での学習）	1	2	3	4
b. 現実の課題に即した学習（実習・演習等での学習）	1	2	3	4
c. 授業への出席	1	2	3	4
d. コミュニケーション能力の習得（グループワークなど）	1	2	3	4
e. 学生の教員への質問	1	2	3	4
f. 学習達成度のチェックと評価（定期試験や小テスト）	1	2	3	4
g. 卒業論文・卒業研究の作成	1	2	3	4
h. 在学中の就業体験（実習やインターンシップ）	1	2	3	4
i. 授業外で教員とコミュニケーションをもつこと	1	2	3	4
j. 専攻学科以外の科目の学習	1	2	3	4
k. 自習学習	1	2	3	4

C9 本学において、勉学に必要な次のような条件は、充実していましたか。

	非常に充実していた	まあ充実していた	あまり充実してなかった	まったく充実してなかった・そういうものがなかった
a. 勉学全般に関する指導体制	1	2	3	4
b. 卒業論文・卒業研究への指導・助言	1	2	3	4
c. 専門教育科目の授業内容	1	2	3	4
d. 共通教育科目の授業内容	1	2	3	4
e. 学外実習の内容	1	2	3	4
f. 学外実習の事前事後指導の内容	1	2	3	4
g. 選択できる授業の内容（多様性）	1	2	3	4
h. 学科カリキュラムの体系的（全体的なまとまり）	1	2	3	4
i. 試験や成績評価の方法	1	2	3	4
j. 授業やコースを選択する自由	1	2	3	4
k. 授業における実学性（実践で役立つ授業）の重視	1	2	3	4
l. 授業方法の工夫	1	2	3	4
m. 就職指導の組織や実習機会	1	2	3	4
n. 授業以外で教員と接触する機会	1	2	3	4
o. 学生同士が交流する機会や場	1	2	3	4
p. 短期大学の意思決定に学生が参加できる可能性	1	2	3	4
q. 図書館の施設や蔵書	1	2	3	4
r. 教材やテキスト	1	2	3	4
s. パソコンや各種の実験器具	1	2	3	4
t. 教室や実習室等の設備	1	2	3	4

D. 本学卒業後の進路についてうかがいます。

- D1 本学卒業時に、どのような就職活動をしましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。
- | | |
|-------------------------------|-----------------------------|
| 1. 就職部や支援センターを利用した | 6. 在学中に仕事（アルバイトなど）をして関係を作った |
| 2. 学科・コースの先生に相談した | 7. 個人的な、つて（親、親戚、友達など）を頼った |
| 3. 施設や企業から誘いを受けた | 8. 自分で企業を起こした、自営業を始めた |
| 4. 求人情報誌・求人広告やインターネット等を見て応募した | 9. その他 [具体的に：_____] |
| 5. 公共や民間の職業紹介機関を利用した | 10. 何もしなかった |

- D2 あなたの本学卒業時の進路について、次の中から1つ選んで○をつけてください。
- | | |
|---------------------------------------|--------------|
| 1. 卒業後すぐ就職 | → D3へ（講師を含む） |
| 2. 卒業後すぐ進学（四年制大学への編入・専攻科・専門学校・その他の学校） | → D6へ |
| 3. アルバイト・フリーター | |
| 4. 家事手伝い | |
| 5. 就職活動を続けた | } → D8へ |
| 6. その他 [具体的に：_____] | |

D3 [D2で1（就職した）と答えた方のみお答えください]
 就職した人にお尋ねします。あなたが採用されたときに、採用する側にとって次のようなことはどの程度重要だったと思いますか。あなたの印象でお答えください。

	非常に重要だった	まあ重要だった	あまり重要でなかった	全く重要でなかった
a. 在学した学校の種類（短大卒であること）	1	2	3	4
b. 専攻学科の資格・免許を有すること	1	2	3	4
c. 短期大学（本学）の評判	1	2	3	4
d. 推薦や紹介を受けたこと	1	2	3	4
e. 本学での学業成績	1	2	3	4
f. 本学在学中の実習経験や職業体験の評価	1	2	3	4
g. 本学入学以前の実務経験や労働経験	1	2	3	4
h. 外国語の能力	1	2	3	4
i. コンピューターの技能	1	2	3	4
j. 自宅からの通勤可能性	1	2	3	4
k. 人柄と表現力	1	2	3	4
l. その他 [具体的に：_____]	1	2	3	4

D4 [D2で1（就職した）と答えた方のみお答えください]
 今、その最初の就職先で仕事を続けていますか、それとも退職しましたか。退職した場合には、いつ退職したのか、お答えください。

1. 続けている（講師を続けている場合は、勤務校が変更しても1に○をしてください）
2. 退職した → 最初に退職したのは [西暦____] 年 [____] 月

D5 退職した回数が複数ある場合に答えてください。

1回目 [西暦____] 年 [____] 月	2回目 [西暦____] 年 [____] 月
3回目 [西暦____] 年 [____] 月	4回目 [西暦____] 年 [____] 月

D6 [D2で2（進学した）と答えた方のみお答えください]
 本学を卒業直後に進学した方は、進学の時期や学校名などを下表にご記入ください。

- * 科目等履修生なども含みます
- * 『(D) 学科・専攻名』の欄には『(B) 学校名』より下の部分（学部〈研究科、専攻科〉、学科、専攻など）を具体的に記入して下さい。
- * 途中で転学したり学科・専攻を変えた場合は、それぞれ別の欄に記入してください。
- * 回答欄が足りないときは、用紙を追加して調査票に添付してください。

	(A) 期間	(B) 学校名	(C) 学校区分	(D) 学科・専攻名	(E) 卒業区分
①	[西暦]年 []月 ~ [西暦]年 []月		1. 専門学校・各種学校 2. 短期大学 3. 大学 4. 大学院 5. その他		1. 卒業（修了） 2. 中退・退学 3. 学習修了 （科目履修など）
②	[西暦]年 []月 ~ [西暦]年 []月		1. 専門学校・各種学校 2. 短期大学 3. 大学 4. 大学院 5. その他		1. 卒業（修了） 2. 中退・退学 3. 学習修了 （科目履修など）

D7 [D2で2（進学した）と答えた方のみお答えください]

進学なさった理由と、その結果について、それぞれお答えください。

(A) 進学の理由（ひとつだけ○をつけてください）

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 専攻分野についてさらに勉強したかったから | 6. 他の資格取得のため |
| 2. 別の分野について勉強したかったから | 7. もっと学生の身分でいたかったから |
| 3. 教養を身につけたかったから | 8. 希望する就職求人がなかったから |
| 4. 将来の仕事に必要だから | 9. 親や教員に勧められたから |
| 5. 四年制の大学を卒業したかったから | 10. その他 [具体的に：_____] |

(B) 進学の結果

進学の結果について、あなたはどの程度満足していますか。

	非常に満足	まあ満足	やや不満足	全く不満足
a. 知識をさらに掘り下げることができた	1	2	3	4
b. 短大で学んだ学習とは違った知識を学べたこと	1	2	3	4
c. 仕事の上で役に立つ知識が得られること	1	2	3	4
d. 教養が身につくこと	1	2	3	4
e. 専門的な学問に触れること	1	2	3	4
f. 色々と有利になること	1	2	3	4
g. 短大よりも高度な資格を取得すること	1	2	3	4
h. 親しい友人関係ができた	1	2	3	4
i. 先生方との交流が豊かだった	1	2	3	4
j. 大学にある施設設備が利用できた	1	2	3	4
k. 就職や進学についての指導が充実していた	1	2	3	4
l. 学外での実習やインターンシップができた	1	2	3	4

D8 [D2で3、4、5、6と答えた方のみお答えください]

進学も就職もしなかった人にお尋ねします。なぜ進学も就職もしなかったのですか、その理由を1つ選んで○をつけてください。

1. 進学も就職も決まらなかったから
2. 自分のしたいことが決まっていなかったから
3. 就職や進学以外にやりたいことがあったから
4. その他 [具体的に：_____]

E. 現在の仕事や活動についてうかがいます。

E1 あなたは、現在どのような仕事をしておられますか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 正規の職員として勤務 | 7. 無職で職業訓練を受けている |
| 2. アルバイト・パートタイム | 8. 無職で仕事を探している |

3. 契約社員・派遣社員
 4. 自営業
 5. 家業の手伝い
 6. 家事・子育て
9. 短大専攻科に在学
 10. 大学・大学院に在学
 11. 養護助教諭・講師
 12. その他 [具体的に：_____]
- E2 あなたの現在のお仕事についてうかがいます。
 (現在、仕事をしていない方は最後にお勤めになっていた仕事について、お答えください。)
- (A) あなたの勤務先の業種は何ですか
1. 建設
 2. 製造
 3. 運輸・情報通信
 4. 卸・小売
 5. 飲食店・ホテル
 6. 金融・保険
 7. 官公庁
8. 医療 (病院・診療所)
 9. 保育所
 10. 幼稚園
 11. 小・中・高・盲・聾・養護学校
 12. その他の学校、教育産業
 13. 福祉施設 (保育所を除く)
 14. その他 [具体的に：_____]
- (B) あなたの職業は何ですか。
1. 歯科衛生士
 2. 幼稚園教諭
 3. 保育士
 4. 養護教諭
 5. 医療秘書・医療事務
 6. 栄養士・管理栄養士
 7. 医療技術者 (歯科衛生士以外)
 8. 情報処理技術者
 9. デザイナー、コーディネーター (服飾)
 10. その他の専門的技術職業 (音楽・芸術・体育系のインストラクターを含む)
11. 事務 (一般、経理、人事など)
 12. 販売の職業 (店頭、実演など)
 13. 営業の職業
 14. 美容の仕事 (美容師、エステティシャンなど)
 15. 個人サービスの仕事 (接客、旅行業務など)
 16. 農業、漁業、林業の熟練作業
 17. 生産工程・労務作業
 18. その他 [具体的に：_____]
- E3 あなたの仕事での収入は、同期の短大卒と比べて高いと思いますか。
1. 高いと思う
 2. 同じくらいだと思う
 3. 低いと思う
 4. よくわからない
- E4 あなたは、平均して週何時間くらい働いていますか。[週____] 時間
- E5 今の仕事は、いつから働いていますか。また、本学を卒業後、これまでいくつの企業・施設等 (自営を含む) で働きましたか。
- (A) 今の仕事は、[西暦____] 年 [____] 月から働き始めた。
- (B) これまでに働いた企業・施設等の数は、[____] (現在の勤務先を含みます。)

F. 短大教育と仕事との関係についてうかがいます。

※現在仕事をされていない方は 12 ページの H へお進み下さい。

- F1 あなたの現在の仕事全体を考えた場合、本学在学中に獲得した知識や技能をどのくらい使っていますか。

頻繁に 使っている	ときどき 使っている	あまり 使っていない	まったく 使っていない
1	2	3	4

F2 次のような知識・能力・技能を (A) 短大卒業までにどの程度身につけましたか。また、(B) 今の職場でそれらの能力はどの程度必要とされていますか。

	(A) 短大卒業までに、どの程度身につけましたか？				(B) 今の職場で、どの程度必要とされていますか？			
	十分に身につけていた	まあ身につけていた	あまり身につけていなかった	全然身につけていなかった	非常に必要とされている	必要とされている	あまり必要とされていない	まったく必要とされていない
a. 幅広い知識	1	2	3	4	1	2	3	4
b. 専門的な知識や技能	1	2	3	4	1	2	3	4
c. 外国語の能力	1	2	3	4	1	2	3	4
d. コンピューターを使いこなす技能	1	2	3	4	1	2	3	4
e. 問題解決力	1	2	3	4	1	2	3	4
f. 一人で仕事をこなせる力	1	2	3	4	1	2	3	4
g. チームの中で仕事を遂行する能力	1	2	3	4	1	2	3	4
h. 仕事への適応能力	1	2	3	4	1	2	3	4
i. 創造性	1	2	3	4	1	2	3	4
j. 自発性、自主性	1	2	3	4	1	2	3	4
k. 話し言葉によるコミュニケーション	1	2	3	4	1	2	3	4
l. リーダーシップを発揮できる力量	1	2	3	4	1	2	3	4
m. 人との交渉能力、折衝能力	1	2	3	4	1	2	3	4
n. 礼儀、マナー	1	2	3	4	1	2	3	4

F3 あなたの仕事環境（地位、職名、収入、職務など）を全体として考えると、

(A) あなたの仕事は、あなたの学歴にどの程度ふさわしいものですか。

非常にふさわしい まあふさわしい あまりふさわしくない まったくふさわしくない

1	2	3	4
---	---	---	---

(B) あなたの仕事にもっともふさわしい学歴はどれぐらいだと思われますか。

- | | |
|-----------|----------------------|
| 1. 大学院博士卒 | 5. 専門学校卒 |
| 2. 大学院修士卒 | 6. 高校卒 |
| 3. 大学学部卒 | 7. その他 [具体的に: _____] |
| 4. 短大卒 | |

G. 仕事への態度や職業上の満足についてうかがいます。

G1 全体として、あなたはどの程度現在の仕事に満足していますか。

とても満足している まあ満足している あまり満足していない まったく満足していない

1	2	3	4
---	---	---	---

G2 職業に関して、以下に示すさまざまな側面についてお答え下さい。

- (A) あなたはそれらをどの程度重視しますか。
 (B) あなたは現在従事している職業では、それらにどの程度満足していますか。
 (現在仕事をされていない方は (A) のみお答えください。)

	(A) あなたはどの程度重視しますか？				(B) あなたは実際の仕事の中でどの程度満足していますか？			
	非常に重視する	やや重視する	あまり重視しない	まったく重視しない	とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	全く満足していない
a. 仕事の自立性(仕事に決定権がある)	1	2	3	4	1	2	3	4
b. 自分の持つ知識・技能を生かす機会	1	2	3	4	1	2	3	4
c. 学習を深める機会	1	2	3	4	1	2	3	4
d. チャレンジングな仕事であること	1	2	3	4	1	2	3	4
e. 職務の内容や範囲の明確さ	1	2	3	4	1	2	3	4
f. 社会的評価・ステータス	1	2	3	4	1	2	3	4
g. 高い収入	1	2	3	4	1	2	3	4
h. 雇用と身分の保証	1	2	3	4	1	2	3	4
i. 将来のキャリアの見通しがあること	1	2	3	4	1	2	3	4
j. チームの中で仕事をする機会	1	2	3	4	1	2	3	4
k. 社会に役立つ仕事をする機会	1	2	3	4	1	2	3	4
l. 職場の雰囲気よさ	1	2	3	4	1	2	3	4
m. 余暇に費やす時間的ゆとりがあること	1	2	3	4	1	2	3	4
n. 仕事でさまざまな経験ができること	1	2	3	4	1	2	3	4
o. 仕事と家事の両立	1	2	3	4	1	2	3	4
p. 男女差別が少ない	1	2	3	4	1	2	3	4
q. 通勤の利便性	1	2	3	4	1	2	3	4

H. 本学卒業後（卒業直後を除く）の高等教育機関での学習経験や生涯学習についてうかがいます。

H1 本学卒業後、D6（8頁）でお答えになったもの以外に教育・訓練を受けたことがある人は、次の表に期間・コース名をご記入ください。

- * 科目等履修生なども含みます
- * 『(D) 学科・専攻名』の欄には『(B) 学校名』より下の部分（学部〈研究科、専攻科〉、学科専攻など）を具体的に記入して下さい。
- * 途中で転学したり学科・専攻を変えた場合は、それぞれ別の欄に記入してください。
- * 回答欄が足りないときは、用紙を追加して調査票に添付してください。

	(A) 期間	(B) 学校名	(C) 学校区分	(D) 学科・専攻名	(E) 卒業区分
①	[西暦]年 []月 ~ [西暦]年 []月		1. 専門学校・各種学校 2. 短期大学 3. 大学 4. 大学院 5. その他		1. 卒業（修了） 2. 中退・退学 3. 学習修了 （科目履修など）
②	[西暦]年 []月 ~ [西暦]年 []月		1. 専門学校・各種学校 2. 短期大学 3. 大学 4. 大学院 5. その他		1. 卒業（修了） 2. 中退・退学 3. 学習修了 （科目履修など）

H2 あなたは、次のような観点から、今後教育や訓練を受ける必要があると思いますか。それぞれ、4段階で答えてください。

	非常に そう思う	まあ そう思う	あまりそう 思わない	まったく そう思わない
a. 専攻分野についてさらに学ぶこと	1	2	3	4
b. 別の分野について学ぶこと	1	2	3	4
c. 教養を身につけること	1	2	3	4
d. 将来の仕事に必要なことを学ぶこと	1	2	3	4
e. 学士（大学卒）や修士の学位を取得すること	1	2	3	4
f. 他の資格を取得すること	1	2	3	4

H3 あなたは今後、短大でのリカレント教育（卒業生に対するキャリアアップ講座等）を希望しますか。

1. 希望する
2. 関心はあるが、行くかどうかはわからない
3. 行きたいとは思わない
4. 考えたことがない

H4 あなたは、短大で学ぶとすれば、どのような学習の形態を希望しますか。

1. 休日等の公開講座
2. 資格取得のための集中的な講座
3. 科目等履修生や聴講生
4. 正規学生
5. その他〔具体的に：_____〕
6. 特に関心がない

H5 あなたは、短大で学ぶとすれば、どのような学習内容を希望しますか。

1. 職業に関する学習
2. 家庭・日常生活に関する学習
3. 教養に関する学習
4. 芸術・芸能・趣味に関する学習
5. スポーツに関する学習
6. その他〔具体的に：_____〕
7. 特に関心がない

H6 あなたは、今後短大で学ぼうとする時、どのようなことが障害になると思いますか。次の中から当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 今の仕事の責任
2. 学習の時間
3. 学習の費用
4. 家族の理解
5. 交通の手段
6. 今の生活を変えること
7. 短大に関心分野があるかどうか疑問である
8. その他〔具体的に：_____〕
9. 特に関心がない

H7 あなたは、今後短大以外に、どのようなところで学習したいと思いますか。

1. 大学
2. 大学院
3. 専門学校
4. 公民館
5. 民間の学習機関（カルチャーセンター等）
6. 通信教育
7. その他〔具体的に：_____〕

H8 あなたが、これまでに参加した地域や社会での活動にはどのようなものがありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 自治会・町内会活動
2. PTA 活動
3. 婦人会・母親クラブ
4. 青少年に対する活動・子ども会
5. 消費者団体での活動
6. ボランティア活動
7. その他市民団体・地域団体での活動
8. 趣味・スポーツ系の活動
9. 学習サークル活動
10. 宗教団体での活動
11. その他〔具体的に：_____〕
12. 何もしていない

I. ご自分の短大での学習経験を振り返って。

I1 本学で学んだことはどの程度役立っていますか。

	とても役立 っている	まあ役立 っている	あまり役立 っていない	全く役立 っていない
a. 満足のいく仕事を見つける上で	1	2	3	4
b. 長期的なキャリアを展望する上で	1	2	3	4
c. 充実した家庭生活を送る上で	1	2	3	4
d. 人格形成の上で	1	2	3	4

I2 もし、あなたが今 18 歳で、もう一度高校卒業後の進路選択ができるとすれば、あなたはどうしますか。

	とても可能 性が高い	可能性が 高い	あまり可能 性がない	全く可能 性がない
A. 短大に行く	1	2	3	4
a. 同じ短大に行く	1	2	3	4
b. 同じ専門分野に行く	1	2	3	4
B. 四年制大学に行く	1	2	3	4
C. 専門学校に行く	1	2	3	4
D. 進学しない	1	2	3	4

I3 ご自身の経験を振り返って短大教育は今後どうしていけば良いと思いますか。何でもご自由にお書きください。

※以上で質問は終わりです。ご協力どうもありがとうございました。